

児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2023年2月22日

全回収率 85%

事業所名: おひさまスマイル

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	放デイと児発が重なっている時間は、1階で放デイ、2階で児発が活動し、お互いが集中して取り組めるように工夫している	はい 90% どちらとも言えない10% いいえ 0% わからない 0%	時間によって使うスペースを分けて、児発も放デイも過ごしやすい環境を工夫してつくる
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づき職員配置し、利用者の人数や実態に応じてさらに+αで配置している	はい 86% どちらとも言えない7% いいえ 0% わからない 7%	今後も指定基準を順守し、その上でパート職員の活用等工夫して十分な人員の確保を目指す
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	指導室が2階にあり、階段を使用しないと行けない トイレや手洗いが1階にしかなく、その都度階段を降りなければならず、指導員の同行が必要	はい 73% どちらとも言えない17% いいえ3% わからない 7% はい:「我が子にとっては、とても良い環境です」	階段の上り下りには指導員が同行し、安全に配慮する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	20畳の広いスペースをパーテーションで仕切って使用している その日の活動に応じて手軽にレイアウトを変えることのできる反面、日によってレイアウトが変わることがよいのか?心配 パーテーションがあっても音が漏れるので、集中しづらい児童が多い	はい 90% どちらとも言えない7% いいえ 0% わからない 3%	今後も環境整備について検討し、改善する
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	忙しさにわれて振り返りの時間が十分に持てていない → 週1回、子どものいない時間にミーティングを行うようにする		週1回会議日を決め、13時から話し合う
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内での発達障害についての研修は元より学会や外部の研修会にも会社が補助を出し、従業員の参加を促している		月1回実施日を決めて研修を実施する リタリコの研修、LDセンターのオンライン研修等を活用する
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	サービス利用計画をもとに、フォーマルアセスメント結果や観察によるアセスメント等を活用し、支援計画を作成している		計画を必ずしっかり読んで共通理解のもとで指導を行う
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	作成している	1と3共に はい93%、どちらとも言えない0% いいえ 0% わからない7%	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	記載している		放課後等デイサービスについては、項目を検討中(4月より変更する)
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って支援が行われているのかを定期的に振り返ることができていない PDCAサイクルをきちんとできるようにシステム化する必要がある	はい90%、 どちらとも言えない 0% いいえ 0% わからない 10%	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	各係が立案し、全体におろして検討、実施している		計画を早く立てて、全職員に周知するようにする
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	多機能事業所なので、平日は少ない人数できめ細かな支援が行えている	7).はい 79%、どちらとも言えない0% いいえ 0%、 わからない 21%	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月ごとに年中行事に絡めて、制作や自立活動の学習内容を考え、活動に組み入れて実施している		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	各担当責任者で打ち合わせをしてほかの指導員に伝達している。		計画を見て1人ひとりの指導員が自らの動きをイメージし、わからないところを質問し、チームで話し合えるようにする
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援の記録をつけながらその日顕著なことについては、情報共有している		
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回支援の記録を残し、それを見ながら次の教材を準備し、継続的な支援を心がけている		
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月に一回のペースで見直しをしている			
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	園児の場合、児発担当指導員と児発管で出席した		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児なし		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児なし		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	本年度初めてなので、まだ実施していませんが、必要に応じて情報共有をしたいと思っている また、保護者には情報共有できることを知らせている		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当生徒なし		小学校入学の年長児の保護者には、移行支援の連携ができる事を伝えた
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携会議に1件参加した 電話で連携事項について打ち合わせをした		必要に応じて連携をしている 聴覚特別支援学校との連携会議に参加した その後も情報交換を週1で行っている
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	本年度は健常児との交流機会を設定できなかった	はい 14%、どちらともいえない7% いいえ17%、わからない 62%	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	ハロウィンでは、地域の子供たちにもお菓子を配った		今後計画していきたい
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書を丁寧に読み合わせし、説明している	はい 97%、どちらともいえない 0%、 いいえ 0%、わからない 3%	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	事業所内相談を活用して、困りやニーズについて話し、具体的な支援内容を説明した	はい 97%、どちらともいえない 0%、 いいえ 0%、わからない 3%	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	プログラムを実施するまではしていないが、必要に応じて、その都度対応についてアドバイスを 行っている	はい 48%、どちらともいえない14%、 いいえ10%、わからない 28%	ペアトレは実施していないが、保護者の相談には 事業所内相談を実施
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートでやり取りをしている アセスメント結果についての具体的な説明 をし、どのような支援をしているのか伝えている	はい 90%、どちらともいえない10% いいえ 0%、わからない 0%	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時に玄関先で小さな相談を重ねている また、事業所内相談の希望をとって 実施している	はい 83%、どちらともいえない 7%、 いいえ 0%、わからない 10%	相談があればその都度対応している が、相談会等も定期的に計画したい
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者の会を呼びかけたが参加者がい なかった	はい 3%、どちらともいえない 7%、 いいえ 31%、わからない 59%	コロナ禍で参観などもできてないので 要望があれば、今後状況を見ながら 実施したいと考えている
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応については管理責任者から該当職員に 確認、指導、その後全職員に周知している	はい 55%、どちらともいえない 3%、 いいえ 0%、わからない 41%	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳を作成しその日の具体的な様子を 書き情報共有できるようにしている 全保護者にLINE登録をしていただき、写真 でも情報共有しやすいように配慮している	はい 97%、どちらともいえない 3%、 いいえ 0%、わからない 0%	連絡帳で保護者に伝えるとともに 今後もSNSを使って視覚的にもわかり やすいように伝える
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ホームページやInstagram、LINE等で活 動についてお知らせしている	はい 90%、どちらともいえない 3%、 いいえ 0%、わからない 7%	紙ベースでは行っていないが、インス タグラムやLINE、ホームページで随時 活動内容や学習の様子を知らせている
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き保管庫に保管し、職員については、機 密情報保持の契約書にも押印し、研修も 行っている	はい 86%、どちらともいえない 0% いいえ 0%、わからない 14%	十分に注意して取り扱うよう再度 職員全体で確認した
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	BCP研修を受け、各マニュアルの作成に取り 組んでいる	はい 62%、どちらともいえない 7%、 いいえ 0%、わからない 21%	早急に策定したい
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	訓練については、9月に1回実施 SSTIにおいて緊急時の対応についても トレーニングしている	はい 59%、どちらともいえない 3%、 いいえ 0%、わからない 38%	マニュアルを作成し、訓練も行ってい く
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	全職員が研修会を受講済み		今後も研修会を積極的に活用し、虐待 防止に努める
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	特にその事例はないが、今後可能性のある 児童生徒がいる場合は説明し、記載を必ず したい		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用前に保護者に聞き取りを実施しアレル ゲンについては、除去している		保護者への聞き取りで必ず確認し、 全職員に周知する
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、当事者あ記入 し、管理職が点検し、全体に回覧をしてい る。定期的に全体に声かけを行わないと ヒヤリハットが出にくくなる傾向があった		ヒヤリハット報告を必ず行い、いつ どんな場合に発生したか？どんな改善 点があるのかをミーティング時に全職員 で確認する